

## 令和3年度 第1回学校評議員会 評議員による質疑・提言(抜粋)

- ・期 日 令和3年6月11日(金) 15:00~16:00
- ・場 所 前沢明峰支援学校 多目的ホール
- ・参加者 学校評議員6名 本校職員12名

### (1) 質疑・提言

#### A評議員

質問：自立支援協議会でも話題になっていることだが、現在奥州市の施設はどこも定員いっぱい  
の状態である。卒業生が増えているが、5年後、10年後の見通しはどうか。

回答：本校の児童生徒以外については、どれくらいの人数かは把握できていない。(進路指導)  
教育委員会なら支援学級について把握しているかと思われる。(中学部長)

#### B評議員

質問：子どもたちの放課後活動について教えてほしい。

回答：10数名は、陸上の練習を放課後に行っており、大会にも参加をしている。また、寄宿舎生  
は、同好会活動なども行っている。(高等部主事)

### (2) 協議・助言

◎学校評議員のみなさまからご助言いただきたい事項

「地域の人材活用と連携について」

昨年度、コロナ対策をとりながら行った交流等について各部の状況

<小学部>

近隣のピアノ講師が来校し、演奏会を開催した。また、おはなし広場にボランティアを依頼し、  
読み聞かせ会を行った。

<中学部>

校外に出かけての活動が多い。近隣商店に行事のための買い物に出かけたり、図書館を利用し  
たり、リサイクル活動で回収業者に出向いたりした。

<高等部>

例年だと年に7~8回「あすも」を訪問して交流を行っている(昨年度は、コロナ対策のため  
直接交流ができず、プランターや作業製品を送るなどの交流だった)。また、ふれあい公民館で  
の作業製品の販売や、水沢商業高校との交流なども行った。

○助言

C評議員

例年行っているPTA活動としては地域交流活動があるが、コロナウイルスの感染状況が落ち  
着いたら、親子に限らず地域の方々も含めて「ボッチャ」等で交流ができるのではないかと。

### (3) その他

A評議員

A福祉施設では農業に力を入れている。体を使って働くことが大切で、労働力としての役割も  
担っている。周辺地域では高齢化が進んでおり、地域の中でも草刈りや除雪の需要がある。

B評議員

地区として、障がい児入所施設の田植えなどに関わっていたが、交流があまりできなくなってきている。今後は、学校とも何か交流できるよう考えていけたらと思う。

#### C 評議員

いろいろな角度からの話を聞くことができて良かった。保護者としては、地域の方々に知っていただきたいと思っている。コロナ禍でなかなか情報が得られないため不安なことも多く、その不安を解消できるようにしていきたい。

#### D 評議員

障がい児入所施設では、地域との交流をずっと続けてきたが、去年はコロナの影響で減少している。利用者の主体性を大切にしながら前向きに考えていきたい。

#### E 評議員

系列の福祉施設間の職員が集まって親睦をはかることができない。今の状況でもできる交流を考えたい。

#### F 評議員

校内を見学した際、廊下の掲示物に芸術的なものが多く、個別にいろいろな工夫をしていることがうかがわれた。S Cの来校が年6回と少ないので、教職員も相談できるように来校日を増やすよう要望するとよいのではないか。